

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	元石川高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制普通科
-----	---------	------------------	--------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現にこたえるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、豊かな人間性と自然を愛する心をもち、自律した社会人として、社会変化に柔軟に対応できる人材の育成に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向け、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

「自立・協働・創発」のスローガンの下、これからの社会でたくましく生きる力とその土台となる資質・能力の一層の向上、主体的に学びに向かう進学質の向上を図る。

【育成すべき生徒像】

広い視野を持ち、常に高い目標を掲げ、社会に貢献する姿をイメージし、自ら考え行動し、大人と議論し、創造に対し挑戦し続ける高校生

3 計画策定時点での課題

・外部の教育力の活用や種々の講習等の実施により生徒の学習保障を行い、一定の成果を上げてきたが、さらに組織的かつ体系的な取組にする必要がある。

・社会で求められる資質・能力の育成を目指し、生徒の実態把握や学習成果の可視化を通して「社会に開かれた教育課程」「総合的な探究の時間」等のカリキュラムマネジメントが必要である。

・学校の情報化が急速に進む中、個々手探り状態に対応している。組織的な推進体制づくりと迅速な環境整備が求められている。

・緊急事態下で急激な生活環境の変化による生徒の学習面、健康面、精神面等の負担への一層の支援が必要である。

・高大接続改革に伴い、出口を意識したより効果的かつ3年間を見通したキャリア支援が求められている。

・安心、安全な学校管理を目指し、引き続き防災意識、事故・不祥事防止意識を高めていく必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	これからの時代を心豊かにたくましく生きていく力を育むため、主体的に学ぶ意欲を高め、資質・能力を育成する教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。	(1)生徒の実態とニーズを分析し、資質・能力を育むことができる新教育課程を編成する。 (2)外部の教育力と連携を深めながら、生徒の様々な学びの機会を構築する。 (3)生徒の学びの保障を最優先とした柔軟で迅速な組織体制を作る。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	部活動や行事、日常的な生徒指導を通して、社会規範を身に付け責任感や連帯感を高め、自己実現に向けて努力する姿勢と命を大切にする心を育む。	(1)緊急事態体制下の対応を視野に入れた組織的な教育相談体制と生徒指導体制の構築により一層円滑で充実した指導、支援を図る。 (2)部活動と行事の活性化を通して確かな社会性と心身の成長を図る。また、他者と協力して成し遂げることを経験しながら成長していくよう導く。
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりの進路希望実現に向け、自らのキャリア発達を意識できる、3年間を見通した進路指導の充実を図る。	(1)社会状況の変化に対応した進路希望実現のためのサポートを充実させる。 (2)3年間を通じて生徒個々の主体的なキャリア形成を意識した進路指導の充実を図る。
4	地域等との協働	地域に開かれた学校としての取組みをさらに進め、保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との連携を促進し、協働と信頼に根ざした学校づくりを推進する。	(1)地域との連携を密に行い、生徒との関わりをもつ機会を多く作ることで、生徒個々の多様な成長を促す。 (2)地域貢献を推進し、生徒の自己有用感を醸成する。
5	学校管理 学校運営	保護者や周辺地域による、本校の教育活動に対する理解を深化させるとともに、安全・安心・快適な学習環境を整備し、保護者や県民から信頼される学校づくりを確立する。	(1)防災研修を通して、防災意識を高めると共に、防災体制の整備を推進する。 (2)本校の教育活動や活動実績をわかりやすく説明し、生徒主体の充実した内容にする。 (3)社会状況やニーズに迅速に対応するとともに安心安全な学習環境の整備を一層推進する。